

みほとけ

〒339-0008 さいたま市岩槻区表慈恩寺990

TEL 048-794-1759

FAX 048-794-3388

E-mail jyougenji@hotmail.com



常源寺と檀信徒をつなぐ

午年に願う

檀信徒の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、喪中にて新年を迎える方には、本年が良き一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

今年は午年、干支の動物は馬です。馬は力もあり、従順な性格であるため、古くから人間と深い付き合いのある動物でした。日本人が馬と関わりを持ったのは古墳時代からだと言われています。それから現代まで、日本人は馬と深く関わってきました。古くは、祭祀、乗用、運搬用、農耕用とされ、中世から近世になると軍用馬としても飼育されてきました。現代では、競馬や乗馬といったスポーツの場面でも活躍しています。

交通の要所に祀られて道中の安全を守り、人々を苦しみから救う存在として信仰されている「馬頭観音」という仏様がいるように、馬は信仰の対象でもありました。また、願い事を書いて神社や寺院に奉納する木の板である「絵馬」は、本物の馬を奉納できない人が代わりに馬の絵を描いて納めていたことに由来しているように、馬は縁起物でもあるのです。

「馬は天を駆ける聖なる動物なり」という言葉があります。午年の始まりにあたり、人間の友であり、信仰の対象、縁起物でもある馬に新年の願いをかけましょう。令和8年が檀信徒の皆様にとりまして幸せな一年になりますことを心より御祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



■暮らしの中の仏教用語

安心（あんしん）

安心とは、心配がなく心が安らかな状態のこと、日常生活の中でもよく使用する言葉です。仏教では、「アンジン」と読むこともあります。仏法によって心の安らぎを得て、動することのない境地、修行によって得られる安定した心の境地のことを指します。

「あんじんりゅうめい安心立命」という四字熟語もあります。どんなに困難な場面に遭遇しても心を安らかな状態に保ち、どんな時にも惑わされずに天命をまとうするという意味です。新しい年こそはぜひ、誰にとっても「安心」できる世の中になって欲しいものですね。

◇ 仏教なんでもQ&A ◇

Q お正月は御仏壇に何をお供えすればよいですか？

A お正月を迎える前に御仏壇を丁寧に掃除して清めておきましょう。御仏壇へのお供えは、線香、花、ろうそく、水、御膳の「五供（ごくう）」が基本となります。

花は新春らしく、松や南天などの華やかなものをお供えするのが適しています。

鏡餅は年神様へのお供え物ですが、仏教においても幸福や恵みをもたらし、円満や繁栄を意味するものと考えられており、御仏壇に飾っても問題はありません。

お正月の御仏壇へのお供えは、御先祖様への感謝と新年の無事を願う気持ちを込めて普段よりも豪華に整えるのがよいでしょう。

年回忌等の御法要について

年回忌等の御法要は、故人様の御冥福を祈り、御先祖様を御供養する大切な仏教行事です。また、常源寺では、御法要において、御先祖様の御冥福とともに、御家族皆様の家内安全、除災招福等も同時に御祈念させていただいております。

令和8年に年回忌に該当している御家庭におかれましては、故人様の「御戒名」、「俗名」、「御命日」を記入したものを同封いたしましたので、御法要の参考にしてください。

なお、御自宅が遠方等の理由で、御法要を実施することが難しい場合、御塔婆のみの御供養も受け付けております。

御不明な点等は御遠慮なくお寺までお問合せください。

令和8年 年回表

一 周 忌	令和 7 年逝去
三 回 忌	令和 6 年逝去
七 回 忌	令和 2 年逝去
十三回忌	平成 26 年逝去
十七回忌	平成 22 年逝去
二十三回忌	平成 16 年逝去
二十五回忌	平成 14 年逝去
二十七回忌	平成 12 年逝去
三十三回忌	平成 6 年逝去

<御法要のお申し込みについて>

- ① 御希望の日時と場所をお寺へ御連絡ください。すでに別の予定が入っている場合もございますので、代わりの日時もあらかじめお考えくださると幸いです。
※ 御法要のお申し込みはなるべく早めにお願いいたします。特に、土日や祝日は多くの方が御法要を予定されていますので、直前の御連絡では御希望に添えない場合がございます。
- ② 御塔婆をおつくりになる場合は、御塔婆をおつくりになる方の御名前をお知らせください。御塔婆のお申し込みは、遅くとも御法要の1週間前までにお願いいたします。
※ 御法要の中で御名前をお呼びいたします。御名前には必ずふりがなをお付けください。

■ 御法要のお勤めの仕方 ■

- 身内の方には、日時と場所は、電話などでお知らせすればよいですが、故人様と生前縁の深かつた方をお招きする場合には案内状を出すのが丁寧です。
- できれば御法要の前にもお墓参りをして墓所を掃除し、香華をお供えして年忌法要を営むことを墓前に御報告しましょう。
- 仏壇はきれいに掃除し、花などを莊厳しておきます。また、仏飯、靈膳、お菓子、季節の果物、故人様が好きだったものをお供えしておきましょう。
- 御法要をお寺で営む場合、**御位牌、写真、墓参用の花・線香、念珠**を御持参ください。御本尊様への生花・御供物の御持参は任意とさせていただきます。

「坐禅・写経の会」の御案内

日時：毎月第1土曜日 午後2時より（1月と8月は休講）

場所：常源寺 本堂及び瑞雲閣

令和8年の開催日

2月7日（土）	7月4日（土）
3月7日（土）	9月5日（土）
4月4日（土）	10月3日（土）
5月2日（土）	11月7日（土）
6月6日（土）	12月5日（土）